

## 木造耐震ニュース（H25.5.27号）（京都市実施報告書転写）

### 耐震改修促進ネットワーク会議による地域に出向いた普及啓発の実施について

～朱八学区まるごとすまいの安全点検！！ 耐震についてすこし考えてみませんか？～

大工さんや建築士さんなど関係事業者と京都市及び京都市住宅供給公社が協働して耐震改修を進める耐震改修促進ネットワーク会議（以下、耐震ネットワーク）の取組として、朱八自治連合会及び朱八地域自主防災会との連携の下、地域に出向いた普及啓発を実施した。

当日は、地域の役員の方と一緒に耐震ネットワークのメンバーがまちを巡回し、戸別訪問とチラシ配布により耐震化の働きかけを行うPR作戦を展開したほか、まちの匠による出張相談、個別相談会、セミナーの取組を行った。

- 1 日 時 平成25年5月19日（日） 午前10時から12時まで
- 2 主 催 朱八自治連合会，朱八地域自主防災会，耐震改修促進ネットワーク会議，京都市，京都市住宅供給公社（京 安心すまいセンター 京都市すまい耐震支援窓口）
- 3 対象地域 朱八学区 月輪町，藤ノ木町
- 4 会 場 中京倉庫前広場（西小路通紙屋川下る西側）
- 5 参加者 地域の役員の方（10名），耐震ネットワークメンバー（まちの匠9名，京都市5名，支援窓口5名）。合計29名
- 6 内 容

#### (1) 巡回！すまいの耐震パトロール【PR作戦】

地域の役員の方と耐震ネットワークのメンバーがまちを巡回し、古い木造住宅を対象に訪問して、耐震化支援事業の案内チラシなどを配布した。また、出張相談、個別相談会、セミナーの告知を再度行った（事前に回覧で告知済み）。【チラシ配布部数 133部】



#### (2) 学習！誰でもわかるすまいの耐震基礎セミナー

大切な命を守るために重要な「すまいの耐震化」について、セミナーを開催した。

【セミナー参加者：30名（地域住民，地域の役員10名を含む）】



（セミナー概要）

- ①耐震改修の3ステップと改修費用について（瀬戸氏）
- ②すまいのチェックポイントと耐震改修方法について（田原氏）
- ③京都市のすまいの耐震化に関する支援制度説明（京都市）

#### (3) 出張！すまいの安全点検【訪問相談・点検】

大工さんと建築士さんがチームを組んで、申込のあった住宅を訪問し、すまいの傷み具合の点検と改修や維持管理のアドバイスを行った。【訪問軒数 2軒】

## 【点検記録】

### 1 軒目 10:30～ 加藤邸

構造規模：木造伝統工法 2 階建て

建築年：不明（築 60 年程度）

- ・老朽化度の点検→築年数の割にはしっかりしている（30 年ほど前に一度リフォームされたとのこと）。
- ・寝室の耐震化するには→四隅に耐力壁を設けると耐震性向上すると説明
- ・コケー西へ 1 c m, 南へ 2 c m →それほど危険ではない（傾き 1/15 以下）
- ・家具の転倒が心配。今は天井との間につっかえをいれて支えている→ つっかえは有効だが不安であれば柱などとひもでつないではどうか。つっかえも、天井裏にしっかりとした梁のある個所にしないと意味がない。

相談・点検の結果、耐震診断の申込み希望あり（診断リーフレットを渡した）。



### 2 軒目 11:50～

構造規模：木造在来工法 2 階建て（外壁モルタル仕上げ）

建築年：昭和 56 年（築 32 年）

- ・耐震性の確認—外観のみ  
建物正面を見ると東西方向の壁量が少ない。窓部分あるいはピロティの柱に、筋交いを取り付けることで耐震化できる。
- ・ヒアリング—住民である女性から  
2 階の床がきしんでいることに対し、瀬戸建築士より、床下の梁が細いためそのようなことが起こっているのではないかと説明あり。特に耐震性への影響はないが、気になるようであればまちの匠の制度を利用してリフォームされてはどうか、と説明されていた。

## (4) 開業！すまいの個別相談会【個別相談会】

耐震基礎セミナー終了後、同会場にて個別相談会を行った。

【相談件数 1 件】

【相談記録】

- ・家が古い（昭和初期）ので、地震で倒れないかどうか気になる。一度、専門家に家を見てほしい。→京町家の耐震診断について説明し、診断のリーフレットを渡した。

7 成 果 耐震診断士派遣事業申込み予定 2 件